

戦闘における航空機

4機種の兵器の発展

AIRCRAFT

WAREARE

THE ORIGIN OF THE AIRCRAFT



ランチェスター戦略の 知られていない事実

【マル秘メルマガ】より 6通目その2

a. ランチェスター先生自身が否定している

私は1985年の12月、ランチェスター先生の墓参りのために英国に行きました。そのとき時間があつたので、戦争博物館に立ち寄りしました。

その中には、第1次世界大戦で行われた、空中戦の様子を表現した「大きな模型」が展示してありました。

その模型の前で立ち止まり、何気なく説明文を見たところ、空中戦が最初に行なわれた年号が記入してありました。

ところがこの年号は、ランチェスター先生が法則を発表した年号と2年近くも違っていたのです。

その違いがとても気になったので、日本に帰ったら詳しく調べ直してみようと考えました。

それから1年後、幸運なことに、ランチェスター先生が出版した「ランチェスター法則の原書」が手に入ったのでさっそく英語ができるパートさんを採用して翻訳作業に取りかかりました。

その結果次のことが解りました。

ランチェスター先生が法則を発表したのは、1914年10月2日付の記事ですが、それから14日後の10月16日に書かれた記事の中に、次のような文章がありました。

「新聞報道によって、操縦士が自動小銃を次々と発射するといった派手な話がときどき伝えられている。

中には実際にこのような攻撃によって敵機を撃墜したという記事さえあり、私達を喜ばしてくれている。」

「しかし、戦いの情報を正確に把握している軍当局に直接問い合わせてみたところ、そのような事実はないということであった。」

そしてそのあとランチェスター先生は「こうした記事は単なる空想に過ぎない」とも書いています。

(続く)

Lanchester

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>